

このコーナーでは、九州一安心安全なまちづくりを目指す小林市で活躍する人やその活動など、協働のまちづくりに関する情報を提供します。



消防・防災
交流深め、防災意識高めよう
小林で防災士の研修交流大会



いじめ対策
いじめ防止へ専門家委員会
西諸2市1町で共同設置



討論会のパネリストは、各地の防災士9人。西諸地区からは貴嶋憲太郎さんが登壇しました

防災の専門的な知識・技能をもつ防災士の研修交流大会が、文化会館で開催されました。防災士間の交流を深め、市民の防災意識を高めようとNPO法人宮崎県防災士ネットワークなどが主催（大会会長＝西諸支部深草彰三支部長）。県内各地の防災士や市民ら550人が集まり、各地の事例発表、霧島ネイチャーガイドクラブ古園俊男会長による基調講演や討論会などが行われました。

専門家の見地から、いじめの防止策・解決策の研究、調査などを行う平成26年度第1回「西諸地区いじめ問題対策専門家委員会」が文化会館で行われました。大学教授や警察経験者、教職員経験者などの専門家5人に委嘱状を交付。委員長に選任された安東末廣さんは、「皆さんの協力をいただきながら、西諸地区からいじめが無くなるようがんばっていきたい」と話していました。



中屋敷教育長から委嘱状の交付を受ける安東委員長（写真左）。

取り組みを紹介します

きずな協働体 今月は、細野地区

小林で一番の地区に。細野まちづくり協議会設立

地域住民が一体となりまちづくりに取り組む「細野まちづくり協議会」が1月11日、細野地区に設立されました。同日、牧場の演芸場で設立総会を開催。「なんでも小林で一番」を目標に、安心安全、こども育成、地域づくりの3つの専門部会を設置。各部会を中

心に住民が参加しやすい事業を行っていきます。総会では、地域情報を発信する「さくら通信」の発行、防災訓練や農業体験授業などの事業が承認されました。その後、根性行進参加者の細野中学生徒も加わり、毎年恒例の「どんと焼き」で無病息災を願いました。



無病息災を願い残り火でもちを焼く参加者

（上から）会長 太田 宏典さん
細野中2年 田中 大和さん
細野小6年 松田 耀平さん



自然・伝統、子ども、絆は細野の宝。地域住民が夢と希望を持ち「小林で細野が1番」を目指します。（細野まちづくり協議会の設立宣言）

協働により「九州一安心安全なまち 小林市」を目指して

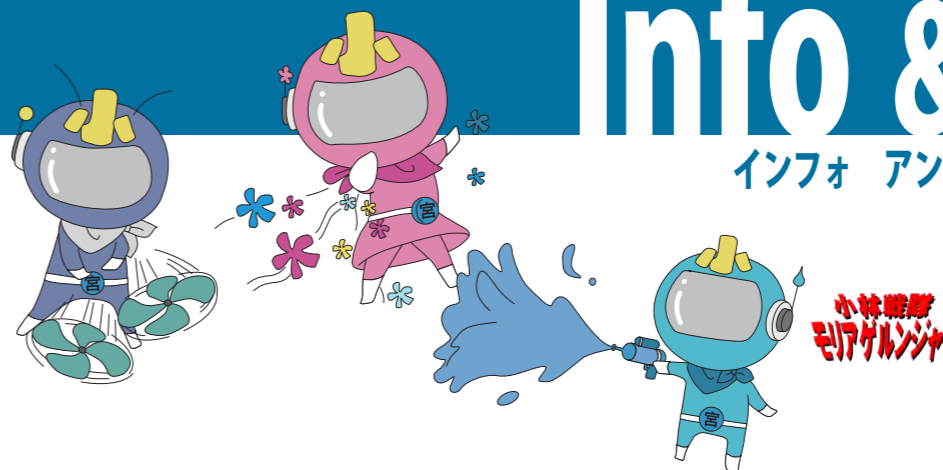


も応援。

こばやし協働

Info & News

インフォ アンド ニュース



このイラストは、小林高校3年生 海蔵楓寧さんが（当時・永久津中3年生）小林市の活性化を願い作成したものです。市の自然（花、星、水、虫）がモチーフになっています。



消防・防災

消防出初式を緑ヶ丘公園で開催。消防防災フェスタも初開催。多彩な催しで消防団員と市民ら交流



消防出初式が、1月11日、緑ヶ丘公園野球場でありました。式典では、団員は服装や規律などを正す通常点検などを実施。その後、消防防災フェスタが行われ、消防署、警察、自衛隊や地域住民ら約300人が訪れました。消防・警察・自衛隊の車両見学、車の解体訓練、AED講習、消防団による放水体験などを行い、防災への意識を高めました。

1 県知事表彰など104人が受賞 2 ラッパ隊の演奏 3 豚汁500人分を振る舞いました 4 車両の説明をする警察官 5 通常点検を行う消防団員ら 6 子ども向けの放水体験 7 消防隊員の車の解体訓練 8 自衛隊コーナーでは制服の試着も